

山陰 五十猛だより 春号 VOL.16

日まいに春らしくなり、木々の糸緑も色めく季節になりました。

今年の冬は、山陰でも大雪になり寒さも厳しかったですがみなさまいかがお過ごしでしたか？
早いもので五十猛だよりも皆様のおかげで16回目を迎えることができました。ありがとうございます。
さて、今年最初の五十猛だより情報満載でお届け致しますので、どうぞ最後までお楽しみ下さい。



ふるさと風景 14 石見銀山を訪ねる 勝源寺(しょうげんじ)

さて、今回のお届けする「ふるさと風景」は、たいこ銀子で勝源寺(しょうげんじ)へ行って参りました。
勝源寺は、江戸幕府2代奉公の竹村丹後守(たけむらたんのかみ)が大檀那(おおだんな)となつて造られたと言われる、
浄土宗のお寺です。石見銀山代官所跡の道をおよとまかるとすぐに見えてきます。まわりを山に囲まれているので、馬騒音もなく、
静かで、外の世界から引き離されてしまったようです。

それでは、さっそく勝源寺について☆レポートします！



☆ **たいこ**がお約束通り石段にフマブキ(笑)、勝源寺の階段を上ると、古い歴史を感じさせる四脚門(よつあしもん)が見えてきました。

四脚門 この四月即月に、毎晩、龍が水を飲みにつけ出して困るという事で、龍の目に金釘を打ち、動かないようにしたと言われる龍が周刻(しゅうこく)されています。「水飲み龍」です。石壁に今にも重き出しそうな迫力です。雨、風にさらされても凛々しい表情のまま、こちらを睨み付けていました…。
まるでい視線を感じたら、みなさまも見上げてみてください(笑)

☆ **極彩色格天井** 鮮やかに模様が描かれた天井が勝源寺の本堂で見ることが出来ます。とても豪華できらびやかです！また、龍、鳳凰(ほうおう)、瑞雲(ずいげん)の彫刻が天井の下に精巧に彫刻されています。周刻りは修復されていません。当時のまま残されているので、仕事の糸田かい「耳かき」も感じました。



☆ 徳川を祀る「東照宮」

勝源寺から、徳川家康の死後、竹村丹後守が建てた「東照宮」を見ることが出来ます。徳川家12代将軍までの位牌と「家康並びに16将軍」や、三つ葉葵入り茶碗などが奉納されていたそうです。
勝源寺の展示ホールに展示されていますので、一度みなさまもご覧下さい！歴史に弱いたいこですが、徳川家康は知っています(笑)テレビドラマで見たことのある、有名な徳川家の家紋を実際に見ることが出来ました。

☆ **隠れキリシタ地蔵** 他にも、勝源寺の展示ホールでは、隠れキリシタのお地藏さまや、マリア像(たいこや銀子のもっているマリア様とは全く違うイメージです！)を見ることが出来ます。
石見銀山はその昔、金山の労働者が多く、若くして亡くなる方が多かったことから、キリストの教えが、働く人の救いになっていたのかもしれないそうです。隠れるように信仰していた信者さんを見つくと…
切なくなってしまうかもしれません。お地藏さんやマリア像を見て、たいこや銀子は当時を思い浮かべたのでした…(一一)

みなさまも一度、勝源寺と、大森の歴史に触れてみませんか？ 和田珍味銀山店(銀山ヴィレッジ)も歩いてすぐそばです♪

(著者紹介)
佐々木寿信(ささきことしのぶ)
1948年生まれ。
日本童謡協会会員。
童謡「さりんさん」
「なつのはな」などで
三木露風賞最優秀者賞受賞。

今回は佐々木さんが和田珍味のために詩をつくられました。五十猛在住の作家さんとしてこれからも紹介させて頂きたいと思っております。

私のふるさと
和田珍味本店より
佐々木寿信

小舟が沖ゆく
続くよ海は
とこまじもまなく
浮雲空に流れ
浜屋敷も咲くよ
はくのはな里のふるさと

岬の岬のこらに
夕日か沈む
神島もくれる
灯台の灯かともる
砂浜の貝も
はくのはな里のふるさと

帯みるあしたに
光る海が
砂山にひとり

昔を思いいしく
潮騒身に残る
はくのはな里のふるさと